

### 第3回総合教育会議議事録

と き 令和2年2月28日 16:00～17:20

と ころ コミュニティセンターおの205号室

#### 出席者の職、氏名

市 長	蓬 萊	務
教 育 長	橋 本	浩 明
教 育 委 員	西 村	賢 一
教 育 委 員	河 嶋	栄 里 子
教 育 委 員	藤 本	真 理
教 育 委 員	養 父	雄 一
防 災 監	上 田	芳 敬
事務局職員	教育管理部長	岸 本 浩 幸
	教育指導部長	小 西 博 泰
	教育総務課	谷 口 裕 美

#### 1. 開 会（教育管理部長）

#### 2. 市長あいさつ

小野市では、市長部局と教育委員会とは、これまでから密接な連携を図ってきており、総合教育会議は、第1回目を、平成27年に開き、その後開催していませんでした。平素より、何か事案が発生すれば、教育委員会より市長への「報告・連絡・相談シート」により、ただちに報告がなされる仕組みを構築しています。今回は重要案件がありますので、総合教育会議を開催します。

令和2年2月27日夜、安倍総理大臣から発表された「3月2日から小中高等学校の一斉休校の要請」に対する小野市の対応について

兵庫県は3月3日から15日までの間、県立の小中高等学校も同様の措置を取るとのことです。既に、神戸市、姫路市、その他市町の多くが、国の要請どおり一斉休校することを決定しています。

ただし、文部科学省の記者会見の説明のトーンが変わり「全国一斉休校の措置については、あくまで基本的な考えを示したものであり、各学校、各地域には柔軟にご判断いただきたい」との見解を示しました。

小野市では、新型コロナウイルス感染症に関する対応について、以前から再三にわたり、両副市長、教育長、防災監と検討を重ねてきました。そして今朝、両副市長、教育長、防災監、関係部署が集まり、対策を協議し、一つの結論を導き出しました。すでに小野市のホームページで公開しており、小野市の方向性を示しています。

- ① 現在のところ兵庫県内及び北播磨地区に発症者がいないこと
- ② 学校を休業した場合、児童生徒の安全確保が困難であるということ
- ③ 共働き世帯、ひとり親世帯、医療現場で働く保護者を持つ世帯などへの社会的影響を考慮した上で、当面は通常どおり学校を開校する方向で、検討しています。

新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスを比較できるとは言えませんが、昨年、インフルエンザウイルスで亡くなった方の数は、約3,000名。毎日、約50名の方が亡くなっていたことになります。新型コロナウイルスで亡くなった方の数は現在13名です。この実態を、国もメディアも議論しないのが不思議であります。後日、北播磨総合医療センターの病院長と、この点についても議論をしたいと考えています。

万が一、近隣5市1町で新型コロナウイルス発症者が出た場合、もしくは、小野市で発症者が出た場合、ただちに休校措置について検討します。危機管理というものは、情報を素早く判断し、素早く意志決定をするということ

す。状況が変われば、180度転換します。現段階では、市民は7対3あるいは6対4で理解を示してくれていると考えます。

### 3. 協議事項

#### (1) 小・中学校の臨時休校について

教育指導部長 (上記項目について、別紙を用いて説明。)

先日、県教育委員会から、「新型コロナウイルスの感染症に関する今後の取り扱いについて」の文書が通知されていましたが、安倍首相の記者会見で、状況が変わりました。

別紙3ページの「県立学校児童・生徒等及び教職員が新型コロナウイルス患者となった場合」の通知については、「県立」を「市立」と読み替え、各校に配布し、周知徹底しています。今後も、この通知は活きている資料として取り扱います。

今朝から関係機関で協議を行い、小野市としましては、現在のところ兵庫県内及び北播磨地区に発症者がいないこと、学校を休業した場合、児童生徒の安全確保が困難なこと、急に仕事が休めない保護者がいらっしゃることなど、社会的影響を考慮した上で、当面は通常どおり学校を開校する方向で検討しました。その後、2月28日の日付で、「小野市立小・中学校、特別支援学校、幼稚園における新型コロナウイルス感染症に関する対応について（お知らせ）」を、子どもが家庭に持ち帰ると同時にホームページに掲載しました。

既に、昼頃から、各学校のホームページに保護者からのアクセスが殺到し、回線がパンク寸前状態になったことを鑑み、ホームページに掲載すると同時に、お知らせを保護者宛てにメール配信しています。ただし、ホームページでは協議中であることを示し、この総合教育会議でご協議いただき、先ほど提案しました小野市の方針にご賛同いただければ、その後あらためて3月2日に文書

で通知する予定です。また、この通知から抽出した文章をホームページに掲載し、保護者宛てにメールを配信します。

この「お知らせ」で注意していただきたいことを挙げています。

- ① 流行している新型コロナウイルス感染症に対する予防の正しい理解をお願いします。
- ② 登校の際には、できるだけマスク着用等、感染予防をお願いします。
- ③ 不要不急の外出を控え、ご家庭でも手洗い、うがいを励行してください。
- ④ 学校行事・部活動については、ウイルス感染の拡大を防ぐ観点から、3月15日まで自粛することとします。部活動の対外的な練習試合を含みます。

※中学校の卒業式は、3月10日火曜日、規模を縮小して、予定どおり举行します。来賓の方の出席はご遠慮いただき、在校生の出席人数を減らす、会場に入る前のアルコール消毒、マスク着用等対応を臨時校長会で協議しました。

#### 近隣市町で新型コロナウイルス感染症及び疑いがある患者が発生した場合

- ① 直ちに「臨時休校」措置を講じることについての協議を行います。
- ② 臨時休校中は、原則として、当該学校の学校行事（卒業式、入学式、修学旅行等）、部活動への参加（対外的な練習試合、公式試合も含む）は中止または延期します。  
※放課後学童保育（アフタースクール）も閉所されます。
- ③ 健康福祉事務所（保健所）と連携し、児童生徒とその家族及び教職員の健康調査を実施します。

西村委員

基本方針はこれで良いと思いますが、兵庫県内で新型コロナウイルス

ス感染者が発生した時の情報が早く得られるようになってい  
ますか。

防災監 患者の発生については、県民局と連携していますので、すぐに情  
報を得られるようになっていきます。

市長 情報の確保・共有については、県民局長と福祉事務所長との連携、  
福祉事務所と本庁との連携もあります。問題は、情報が伝わ  
った段階で、このような会議をすることは難しいので、万が一、  
新型コロナウイルス感染者が発生した場合は、学校休校の措置  
について検討します。リスクマネジメントとは悲観的に準備す  
ることです。小野市の全ての行事を網羅するよう指示を出しま  
した。

防災監 5月までの期間で200件以上、エクラの行事を含むと約300  
件です。それらの行事を各部と検討中です。

市長 第二種感染症指定医療機関は市立加西病院ですが、北播磨総合医  
療センターと西脇市民病院が応援せざるを得ないと思います。

河嶋委員 子どもたちの健康を考えると休校した方が良いと思っていま  
したが、臨時教育委員会、市長のお話を伺い、保護者の立場として  
もありがたく、リスクはそちらの方が少ないと思います。ただし、  
いい加減な予防ではなく、マスク着用、手洗い、うがいの徹底を、  
今以上に強化したほうが良いと思います。別紙の「お知らせ」の  
中の、登校の際には、できるだけマスク着用について、教えて下  
さい。

教育指導部長 マスクの品不足も心配ですが、「マスクは予防にはならない」と  
言う専門家（医師）もいらっしゃいます。県の方でも「できるだ  
けマスク着用」という表現をしておりますので、その表現を使用  
しました。

市長 マスクを通してウイルスは入ってくるので、予防にはならず、罹  
った人が、感染を広めないようにするためと聞きました。

教育長 マスクについては、明日と明後日、小野市でマスクを配布しますが、状況を見て、万一余るマスクがあれば、学校へ回していただければと思います。

教育指導部長 マスクだけでなく、咳エチケットという表現をよく耳にしますので、子どもたちに馴染みのある言葉や表現に、お知らせの文章を修正しても良いかと思えます。

教育長 休校しないことを逆手に取り、ピンチをチャンスと捉え、この機会に、マスクの着用、うがい等について再教育します。

藤本委員 消毒液の正しい使い方も、学校で指導してほしいと思います。親の留守中、家での子どもの過ごし方に不安があります。新型コロナウイルスに感染する不安より大きいです。子供を預ける手立てや準備をこの期間に家族で考えていただけたらと思います。防災と同じように考えてほしいです。もし、発症者が出た場合、市としてすぐに情報を提供していただき、そしてすぐ対応をしてほしいと思います。苦情等もあると思いますが、市として芯を強く持っていただければと思います。この対応は良いと思います。

養父委員 基本的にこの方針で良いと思いますが、5ページ「小野市立小・中学校、特別支援学校、幼稚園における新型コロナウイルス感染症に関する対応について（お知らせ）」の中の6行目、北播磨地区の表現が、別の所で、近隣市町と表現されていますので、統一された文言の方がいいのではないのでしょうか。

市長 何を持って5市1町なのか、言い出したらきりがありませんね。

教育長 隣接市、北播磨地区か東播磨地区の選択肢があります。

防災監 常に選択肢を多く持つておく、ということが大事です。文書化してしまうと最低限のことしか出来なくなります。ある程度、ぼやかせて、常に情報を取っておれば、打つ手が広がってきます。1秒ずつ進む情報を見ながら管理をしないとイケません。

市長 国家的レベルでの危機が過去に何度もありましたが、危機管理の

則を共有しておれば、国や県の方針に反することではないと思います。何か起きた時には、速やかに方向転換します。

教育長 自分の立場や考え方は、人それぞれで、関係のない方もおられるだろうと思いますが、小さいお子さんがおられる方、共働きの方には小野市の対応は喜ばれると思います。

教育指導部長 保護者は情報が欲しいと思いますので、学校と教育委員会、防災監とが連携し、情報を共有し、必要な情報を文書やメールで提供したいと考えます。その情報共有システムが今、試されている時ではないでしょうか。

市長 我々としては、リスクな面もありますが、このまま通常の学校体制にしたいと考えます。ただし、従来とは違う態勢で臨む。徹底した情報共有、情報待ちではなく、積極的に情報を取りに行く姿勢でなければなりません。危機管理の本質とは、柔軟に、かつ迅速に変化に対応できる能力を要することです。

市長 窓口は一本化しないといけません。本庁では防災監と情報共有し、意志決定しています。学校現場では、学校指導部長と教育長です。

防災監 小野市の情報伝達について、トップに上がる速さ、トップから下りる速さは、他に例を見ないです。

教育長 兵庫県が過去に新型インフルエンザで臨時休校した結果、生徒指導において、7日間が限界であったという反省があります。教育委員会での休校しない理由として、重複するかとは思いますが、社会的影響の配慮、子どもたちの安全確保が困難である、共働き世帯への配慮が必要である、休校の間子どもたちの過ごし方への不安、スマホやゲーム依存症の入り口にならないか、3月12日に行われる高校入試へのスムーズな対応があります。また小野市の地域特性として不特定多数者と接触する大きなイベントがないこと、学校は同一地域の居住者が通う場所であること、県内に新型コロナウイルス感染症の発症者が出ていないこと、インフル

エンザウイルスとの比較も踏まえ、文部科学省の「小中高等学校の一斉休校はあくまで要請であり、各教育委員会での休校にしない判断を排除しない」という総合的な状況のもとで判断しました。教育長のコメントで全てが網羅されています。このコメントを以って、総合教育会議の結論とします。

市長

## (2)その他意見交換

市長

学校の先生方の服装について、社会通念上のスタイルから遠いと思います。男性はスーツにネクタイ、女性は襟付きのシャツ、スニーカーでない靴を着用し、教壇に立ってほしいと思います。体育の授業においては体操服を着用し、授業後は着替える時間を設ける。子どもたちにとって、先生が社会人の服装スタイルの見本になってほしいと考えます。当たり前スタイル、イコール小野市の先生のスタイルになってほしいと考えます。

藤本委員

先生方の服装は、清潔であれば良いと思います。

教育長

オープンスクール時等の先生の服装は、きちんとされています。

西村委員

ネクタイをしなくても、きちりとしたスタイルであれば良いと思います。

教育指導部長

きちりとした服装は相手を敬うという心の表れだと思います。

市長

多様な価値観の社会を否定しているわけではありません。社会通念上許容される、最低限のスタイルをしても良い職業であると思います。

## 4. 開 会（教育管理部長）